

札 幌 大 学

法学部自治行政学科開設記念「まちづくり懸賞論文」

『住めたらいいな・・・、こんなまち！』

佳 作

【論文テーマ】

住めたらいいな・・・こんなまち！

【応募者】

北海道大成高等学校

荒澤 彩夏さん (3年)

小林 香寿美さん (3年)

小松崎 彩さん (3年)

杉村 茉有子さん (2年)

平成 18 年 10 月

「まちづくり」研究論文

「住めたらいいな・・・こんなまち！」

1 研究及び執筆者

〃

2 目 次

- (1) 私たちの住むまち
- (2) 歴史のあるまち
- (3) 自然豊かなまち
- (4) 心温まる触れ合いのまち
- (5) 私たちの永遠のふるさと

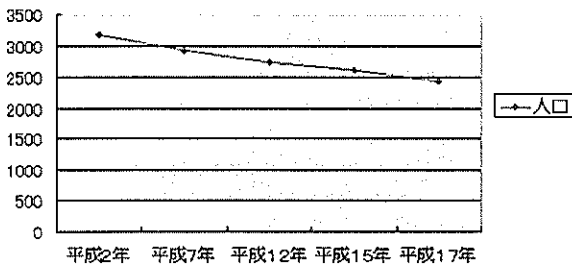
(1) 私たちの住むまち (執筆:)

せたな町大成区は人口約2,400人の漁業を基幹産業とする小さなまちで、檜山道立自然公園の中に位置しています。この地域に足を踏み入ると、まず目の前に日本海の荒波がつくった岩の造形海岸線が飛び込んできます。

旧大成町は、昨年9月に隣町である北檜山町、瀬棚町と合併をしました。かつては漁獲高も豊富で活気のあるまちでしたが、年々その漁獲高も減少し、また少子化にともない人口減とともに高齢化が進んでいます。そして、来年度をもって私たちが通っている学校も閉校となります。

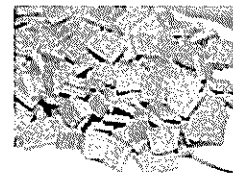
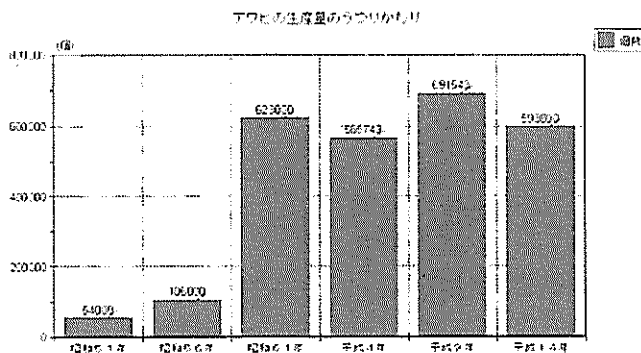
それでも区民の方々はまちに活気を取り戻すため、わっためがして運動会、商業祭、区民駅伝など地域を挙げての行事を実施しています。そこには区民全員が協力し活気あるまちづくりを目指し、新たな活動に取り組もうとする意欲的な姿が感じられます。私たち生徒もその一員として、まちの催しには積極的に参加しています。

大成区の人口の推移



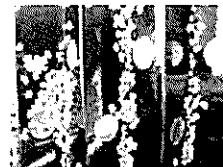
平成 2年	3,168人
平成 7年	2,919人
平成12年	2,730人
平成15年	2,614人
平成17年	2,430人

アワビの養殖 (生産量)



↑ アワビの餌 (昆布を凝縮)

↓ 生まれて4ヶ月のアワビ

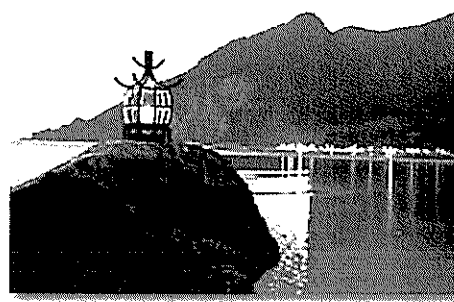


(2) 歴史のあるまち（執筆：

このまちは、道内でも比較的古い歴史を持つところです。たくさんの歴史的建造物を有し、なかでも本道最古の歴史を誇る「太田神社」は道南五大霊場の一つとなっており、毎年多くの観光客が訪れます。太田神社拝殿には江戸時代に建立された北海道最古の灯台、「定灯籠」があります。淡く灯る燈火は海の色を幻想的な雰囲気に醸し出します。



太田神社拝殿



定灯籠

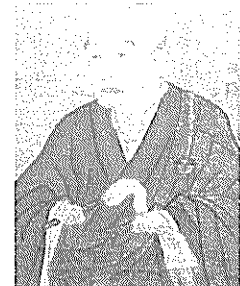
また、この地には歴史的に名高い人物が多数訪れています。阿倍比羅夫や世界的な探検家である松浦武四郎、歌人として著名な菅江真澄などです。菅江真澄は、このまちの情景



を数多く詠いあげ、多くの標柱に残し現在に至っています。さらに、高名僧である円空は約230年前にこの地に上陸し、数多くの仏像を残したと伝えられています。NHK ドラマ「円空」がこの地で撮影されたのも、そんな縁があつてのことです。

私たちの大成高等学校は、こうした歴史あるまちの中心に位置し、文化継承に関わるため、

菅江真澄標柱 郷土芸能継承活動に続けてきました。郷土芸能「久遠神楽」は、明治30年頃に青森県から移住してきた二人の青



円空

年がこの地に伝えたと言われていいます。安全や豊作の願いが込められているこの勇壮な舞踊は、後に地元青年団へと受け継がれてきました。十数年前、私たちもこの伝統芸能を残したいという思いから、演舞を継承してきました。これまで全国大会に5度出場し、数々の賞をいただいた軌跡があります。特に昨年度は、「久遠神楽」発祥の地、青森県での全国高等学校総合文化祭で演舞披露できたことは、私たちの誇りでもあり、いつまでも大きな郷土愛を支える源でもあります。今後はこの取り組みを中学校へと引き継ぎ、私たちが一町民として温かく見守っていきたいと思います。



このように、私たちの生活はこの地に生きた先人たちの礎の上に成り立っています。「まちづくり」の基本はこれまで引き継がれてきた歴史・伝統・文化を絶やすことなく、いつまでも守り続けていくことだと考えます。

← 久遠神楽（青森全国大会より）

（3）自然豊かなまち（執筆）

このまちは日本海に面しており、地元の漁師さんが大切に育てている魚介類など、海の幸が豊富です。また反対側は山々に囲まれていて、罌やきつね、たぬき、リスなど野生動物も数多く生息しています。自然に満ちた素晴らしい景観をもったまちです。私たちはこの貴重な自然をいつまでも守っていきたいと思います。緑が周囲にあふれ、綺麗な空気と真っ青な海と空、そしてなにより人々の心休まるこのまちを永遠に残していきたいと思っています。



そのためには、まず私たち自身が行動を起こさなければなりません。全校生徒で海浜清掃を行い、例年観光客が浜に残していったごみを回収しました。ゴミ袋の大半は空き缶やペットボトルです。自然に惹かれ、この海に釣りを楽しみにして来る人もたくさんいるので、私たちが清掃したこのきれいな海で釣りを楽しんでもらいたいと思っています。ゴミは人間の産物ですからいつでも再生が可能です。でも、自然や動植物は人間の手では作れません。私たちのまちづくりは自然を守ることから始まります。



また、地域で不必要になった新聞紙、雑誌、本、ダンボール

などの廃品を生徒全員が協力して回収し、その収益金を社会福祉施設等に寄付し役立てています。金額はわずかですが、お金では買うことのできない相手を思いやる心の大切さを



私たちは少しずつ手にしています。寒い中での作業でしたが、体を常時動かしていると寒さの事など忘れてしまい、気づいたら終わっていて、何とも言えない達成感がわいてきます。

その他にも、まち全体を明るく、そして美しく保つ一役を担うため、校庭に花壇をつくり、皆で大切に育て、まちの美化に努めています。

私たちはこのまちをただそのまま残していくのではなく、皆の手でまちを今以上にきれいに、そして美しい状態で守り残していくつもりです。そして自然豊かなこのまちを地域のみんながいつまでも愛していけるまちにしていきたいです。

(4) 心あたたまる触れ合いのまち (執筆：)

私たちは、子どもや高齢者はもちろんのこと、社会福祉施設の方々との交流を通して、『思いやりと豊かな心』を持った心あたたまる触れ合いのまちづくりを目指しています。地域の方とすれ違う時には、「おはようございます」「こんにちは」など必ず挨拶を交わすように心がけています。学校や地域でのボランティア活動を通して、様々な方と触れ合う中、多くのことを感じ、学ばせてもらっています。



クリスマスの保育園訪問では、子どもたちに授業で作ったぬいぐるみや人形・バック、そして放課後を利用して作ったカップケーキをプレゼントし、園児と絵合わせなどの遊びをしています。図書館での読み聞かせでは、子どもたちに紙芝居や絵本を読んであげたり、折り紙やフェルトなどを使い工作をしたり、絵を描いたりして遊べます。子どもはとても活発で純粋で、そして素直で、逆に私たちが遊ばれているような感じがしました。子どもの目線にたつと、命の尊さや大人の責任感を痛感します。今、子どもを狙う犯罪や親の虐待といった事件が増えていますが、世代を超えた心と心の温かな触れ合いを通して、私たちは子どもたちが安全に遊べる環境づくりをしていくべきだと感じます。地域に住むみんなの心が明るく、そしてあたたかであれば、本当の意味での幸せなまちづくりができると思います。



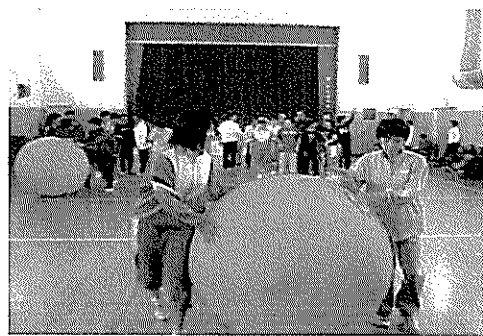
老人ホームや社会福祉施設(知的障害者)の訪問では、食事の介護や施設内の清掃、空き

缶のリサイクル、畑作りなどを一緒に行います。そして安全に誰でもできるような工夫を凝らしたゲームを考え、互いに相手を思いやりながら交流を深めます。協力することの大切さを学び、心一つにやり終えた後は、普段感じることのできない充実感が込み上げてきます。「よかった、うれしい」という思いでいっぱいになります。

老人ホームの慰問



社会福祉施設の訪問



私は、心あたたまる触れ合いのまちをつくるために、誰もがボランティア精神を持ち、協力し助け合うことを継続していくべきだと思います。子どもたちからの『おねいちゃん・おにいちゃん』という言葉やお年寄りからの『ありがとう』という一言はとても心に響きます。ボランティアは誰にでも簡単にできます。私たちは、どんな些細なことでも色々な世代の方との交流から人間にとって大切なことを沢山学べるので、これからも積極的に参加していこうと思っています。そして私たち自身がこの輪を拡げることによって、理想の心あたたまるまちづくりができると信じています。

(5) 私たちの永遠のふるさと（執筆：

世代を超えた全ての人々が「優しさ・思いやり・豊かな心」を持って協力し合い、自然や気風は昔のままに、そして商工会を中心に工夫と活気のある店づくりを展開した、そんなまちづくりができたらよいと思います。また、高齢者や小さな子供たちにとって、事故もなく安全な環境で毎日を楽しむことができ、まち全体が心あたたまる場になることを願っています。そのためにも、若い世代である私たちこそが様々な活動を通して、昔ながらの活気に満ちた美しいまちづくりを続けていかなければなりません。

いつの日かこのまちを離れることがあるかもしれませんが。そんな時でも、自分がこのまちで育ったことを忘れず、やっぱり大成が一番だと思える、そんなまちづくりが私たちの提案と実践です。いつまでも変わらない心の支えであり、誇りであり、永遠のふるさととなるまちづくりを目指します。